

登録コード	A4C42100		開講年度	2026			
授業科目	山岳圏森林・環境共生学基礎演習					担当教員	三木 敦朗
英文授業名	Seminar in Environmental Symbiosis Science Field Work						
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026Aカリ, 2025Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】1. 【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身についている。					⇔	豊かな教養と農学分野における基礎学力を体得する。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	森林・環境共生学コースが教育・研究対象とする山岳から里山・里地・集落・都市部までのフィールドにおいて、各種演習を実施することを通じ、そこでの基礎的研究手法や留意事項を習得するとともに、相互に関係をもつ各フィールド研究の位置づけを理解する。また、その後の研究室分属の参考とすることができる。						
(5)授業計画	集中授業で実施し、授業時間は1日10時間、合計30時間 日程：2025年9月16日（水）～18日（金）実施予定 1日目 場所：伊那キャンパス 演習①伊那キャンパスフィールドワーク 演習②コース教員の教育研究紹介 2日目 場所：長野県内 演習③長野県における山岳圏森林・環境共生学のフィールドワーク 3日目 場所：伊那キャンパス 演習④グループワーク、最後に授業アンケート実施 詳細は、1年次（前期）「新入生ゼミナール」で実施するガイダンスで説明をします。 ※天候や新型コロナウイルス感染拡大状況によって演習の内容が変更することがあります。 ※実施日の変更がある場合、掲示板・キャンパス情報システム等で周知します。						
(6)自主学習の指針	新入生ゼミナールで事前配布される実施要領の内容を理解したうえで演習に参加してください。また、レポート作成において演習当日に配布される資料を十分に活用してください。						
(7)成績評価の基準	レポート及びグループワークにおいて、(i)演習の目的、(ii)演習を行った場および事項、(iii)演習課題、(iv)考察・感想の4項目を適切に把握し論述しており、(i)から(iv)の4項目を高度に満たした上で考察が論理的に述べられていれば「卓越している」、(i)から(iv)の4項目を満たした上で考察が論理的に述べられていれば「かなり上にある」。(i)から(iv)の4項目を満たしていれば「やや上にある」、概ね論述していれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：新入生ゼミナール前もって配布される実施要領をよく読んで、演習のスケジュール、注意事項等を確認してください。また、野外作業での安全対策について各自で調べて確認してください。 事後学習：演習中に配布された資料、自身が作成したメモ等を用い、レポートを作成してください。						
(9)テストやレポートの予定	演習を通じたレポートを作成します。						
(10)成績評価の方法	レポートにより評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は演習中、随時受け付けます。また、演習の事前および事後における質問等は下記教員がメールで受け付けます。 E-mail：mikia26(at)shinshu-u.ac.jp（1年生担任 三木敦朗）						
(12)履修上の注意	・1年次（前期）「新入生ゼミナール」において、本演習についてのガイダンスを実施します。野外活動における安全性を確保するために、注意事項を遵守してください。 ・学生保険に加入していない者は演習の受講を認めません。未加入者は即時手続きすること。						
【教科書】	プリントを事前配付します。						
【参考書】	特になし。						